

S.S さん.

1次試験対策

26年436点、27年495点でした。(自己採点)

26年は、最もよく売れているという某受験指導校の市販テキスト、問題集、過去問を使い、前年の年末から独学しました。

まず、テキストのまとめのノートを作り、内容を覚えて、問題集を1回やりました。

次に、5年前の過去問をやりました。すると、半分弱は一応これが正解だろうとわかり、1/3 ぐらいは2択までは絞れるけど判断できない、残りは4択のまま絞れず、のような感じでした。

そこで、4択状態の問題は捨て問として、2択状態の問題について、どうして正解が正しいのかテキストやネットで調べ、壁に向かって説明できるようにしました。こうすると良く身に付きました。

1科目を3-4週で行い、7科目一巡したら、第一ラウンド終了。

第2ラウンドは、まとめのノートを覚えなおして、4年前の過去問をやリ、第一ラウンドと同様に、2択状態の問題の理解を深めました。(1科目は2週で)

第3~5ラウンドまで、期間を短くしつつ同様に繰り返し、3年前から前年分まで過去問をやって、本番になってしまいました。

よく過去問を何度も繰り返してやるという方がいらっしゃいますが、解答を覚えてしまうので、余力はつかないのではないかと感じています。私は、26年に過去問は過去5年分を1回ずつしかやりませんでした。

27年は、2次の勉強中心だったので、過去問を2年分ぐらいやり直しました。27年の1次は比較的易しかったので、これで大丈夫だっただけかもしれませんが、、、

他には、2回ぐらい受験機関の模試を受けて、1科目中の時間配分、科目と科目の間の時間の使い方を体験しておくと思いいます。

それから、4択のまま絞れない問題についてもどれかにマークしないと25%か20%の確率で得点できるチャンスを失いますが、本番でどれにしようか時間を費やすのもったいないので、対応を事前に決めておくとういと思っています。私は、ウならウに決め、判らなかつたらウとすぐにマークできるようにしました。

また、私は独学でしたが、市販のテキストを読んでも知らない単語ばかり出てきて理解できないという場合は、その科目について、受験機関の授業を受けた方が効率的かと思います。

2次試験対策

26年は、無謀にも1次終了後に、独学で、市販の過去問問題集や?? 答案分析、等から各事例での論点を頭に入れるように努力しましたが、CBDA B。

27年は、某受験機関に通い、答練や過去問を通して、切り口や因果を頭に入れましたが、多面性などに自信が持てず、BBCA B。

28年は、MMCの週末のVコースで、2次三昧。キーワード、金型が身に付き、多面性とはどんな点をカバーしていれば網羅的になっているかをMCサークルや資料から理解することができ、59,68,51,80 でBABA。 AAAAではなく、先生からお叱りをいただきそうな超低空飛行ですが、なんとかなりました。

論点、因果などは前年までに身に着けたことも役立ったとは思いますが、2次対策はMMCの指導、過去問の模範解答を信じて、勉強するのみです。

具体的には、

コースの Step2までは、授業を受けつつ、MMC の過去問模範回答を解析し、キーワード、金型を理解し、ppt にまとめました。(過去問を早期にやってしまうと、力試する問題がなくなると考えて、取っておく方もいるようですが、私は力をつけることを優先しました。)

コースの Step3開始以降は、過去問15年分を2回(直近5年は3回)、答練、模試も2-3回繰り返したりしました。やり方については、MMC から指導をいただき、なるほどという感じです。そして、ポイントを上記 ppt に追記していき、模試や本番で休憩時間に読み直すメモとしました。

各事例独特の単語の意味や、体系的な切り口の整理を教えていただき、効率的に2次対策ができたと考えています。

MMC の指導には、いろいろなノウハウが詰まっているので、「なんだそうだったんだ」的な驚きが結構あります。

ちょっと言い過ぎかもしれませんが、設問の半分ぐらいは、記述問題というよりは、5択ぐらいの空欄補充問題になった気分で、80分の圧迫感が和らぎます。

MMC のキーワード集に加えて、効果のキーワードを整理すると、良いと思います。

ツールのには、

シャーペン、ソフトグリップのクルトガに2Bの芯で、手に負担をかけず、下手でも鮮明な字を。消しゴムは、1行幅のプラスチック消しゴムで、1回こするだけで、1行をきれいに消す。上下の行の字を消さず、机が揺れて隣の人に迷惑をかけることもない。そもそも消すこと自体、文章を書く戦略ができていないとも言えますが、、

最後に

2次試験に合格できたのはMMCの先生方の親身のご指導を頂いたことに尽きると思います。本当にありがとうございました。

診断士登録までには、まだ実務補習を3回受けなければなりません。今はこれまで培った力を実務補習でどこまで生かせるか、楽しみにしています。